

キャリア教育基礎

附属図書館実習 (レポート編)

学術情報課学術情報サービス係

1. レポート作成に必要なこと

2. レポート作成の注意点

① 引用と著作権

② 信頼できる情報源

3. データベースの紹介

あらゆるレポートに共通することは…

- ◎ 読み手が理解できるように書く
- ◎ **客観的な根拠**に基づいて、自らの主張（意見）を書く

主観的な感想(私はこう考えた)だけでは×。
そう考えた理由を、**事実**に基づき記述する。
実験レポートでは、実験で得られたデータと**既知の理論等(文献値)**との整合性を検討・考察する。

① 引用と著作権

他人が書いたレポートや文章等をそのまま写したり、少しだけ手を加えて提出したりするのは「**剽窃（ひょうせつ）**」といい、そのレポート等を書いた人（著作者）の**著作権**を侵害する不正行為にあたります。

他人が書いた文章等を、明記せずに記載することも剽窃です。



自分の考えや実験結果などを説明するために、
著作権を侵害することなく他人の書いた文章等を使用するには？

• 引用

図書や論文、ウェブサイトなどから、文章の一部やデータ等を自分のレポート等に記載する場合は、一定の記述ルールに基づき「引用」する。
実験レポート等で文献値(理論値)を使用する場合も、「引用」のルールを押さえておくこと。

① 引用と著作権

・ 引用の際に気をつけること

- ① 本文(自分の意見)と引用部分(他人のモノ)をはっきり区別すること。(引用部分を「」で囲む、等)
- ② 引用は必要最低限の範囲であること
- ③ 本文が「主」、引用部分があくまで「従」の関係であり量的にも本文の方が多いこと
- ④ どこから引用したのか(出典)を必ず明記すること

7. 参考文献

[1] 著者名「書名」, 出版年, 出版社, 頁番号.

[2] 国立天文台編「理科年表」, 2010 年, 丸善, pp257-258.

基礎科学実験A 「ワープロでレポートを書く際の注意」より
http://physics.e-one.uec.ac.jp/materials/report_sample_v4.pdf

※具体的な記載形式は、学問分野や発表する媒体などによって異なるのでレポートの場合は、教員から書き方の指定があるかを確認する。

① 引用と著作権

補足1：文献値(理論値)

文献値(理論値)を使用する際には理科年表を活用しましょう。

表 1. 表の挿入例. 表番とタイトルを上につける.

測定値/単位	文献値/単位
SSSS	tttt
uuu	vvvv

基礎科学実験A 「ワープロでレポートを書く際の注意」より
http://physics.e-one.uec.ac.jp/materials/report_sample_v4.pdf

理科年表とは？

国立天文台が編纂するサイエンスの全分野を網羅した、世界的にもユニークなデータブックです。(中略) **理科・サイエンスの基礎データ、原典として幅広く活用されており**、研究者・技術者はもちろん理系学生、理科教育関係者、サイエンスライター、メディア担当者、理科ファンなど、サイエンスに携わる多くの方々に愛用されています。

理科年表オフィシャルサイト「理科年表とは」より
<https://www.rikanenpyo.jp/towa/towa.html>

★理科年表は図書館で貸出しているほか、学内ネットワークからデータベース版である「理科年表プレミアム」も利用できます。

① 引用と著作権

補足2：資料のコピー（複写）

レポート作成などのために、図書館内で資料をコピーする際は、著作権法（第31条「図書館における複製」）で定められた範囲で行うこと。

※現在附属図書館に私費のコピー機はありませんが、校費のコピー機や他の図書館での複写の際には31条が適用されます。一時持出による図書館外での複写は31条の適用外ですが、31条に配慮の上複写してください。

「著作権法（第31条）で定められた範囲」とは？

- ① 図書館所蔵資料であること(※1)
- ② 調査・研究目的であること
- ③ 公表された著作物の**一部分**であること(※2)
- ④ **一人につき一部**であること(※3)

① 引用と著作権

補足2：資料のコピー（複写）

※1 自分や友達のノートなどの持ち込み資料は、図書館の
コピー機ではコピーできません。

※2 「著作物の一部分」 = **半分**を超えない範囲。

- ・ 図書は全体の半分以下。ただし、著作集や論文集の場合は各著作の半分以下。
- ・ 雑誌や新聞の場合、最新号のコピーは各論文や記事の半分までだが、次号が発行された場合、もしくは発行から3ヶ月経過した場合は、各論文や記事の全体をコピー可。
- ・ 修士論文は公表された著作物にあたらないため、一部であっても著者の許諾なしでコピーすることはできません。

（＊ 学術機関リポジトリ公開分はダウンロード可）

① 引用と著作権

補足2：資料のコピー（複写）

※3 友達の方もコピーしてあげるのは不可。

ただし、ゼミなどの授業で使うために、論文等を参加人数分だけコピーして配布することは、著作権法第35条「学校その他の教育機関における複製等」に基づき、必要と認められる範囲で可能です。

→必要な部分を超えてコピーしない、必要部数以上にコピーしないなど、著作権者の権利を害さないことに留意すること。

② 信頼できる情報源



レポートを書くときに必要な情報は

まあ適当にインターネットで検索すれば大丈夫でしょ

…と思っていないですか？

検索して見つけたその情報、正しいと言えますか？
正しいかどうかわからない情報を参考にして、大学のレポートや論文を書くことはできません。



そんなこと言っただって、情報がありすぎて何が正確かなんて、よくわからないよ…

…と悩まないために、**Wikipedia**を例にとり、インターネットで得られる情報の特徴と信頼できる情報源について理解しましょう。



② 信頼できる情報源

- **Wikipediaとは？**

誰もが編集できる、インターネット上のフリー百科事典。

- **Wikipediaの長所・短所**

長所

- 「集合知」の結晶を無料で読める(インターネットの優れた点)
- 調べものの入り口として便利



短所

- 間違った記述があったり、情報が最新でなかったりする
- 悪意のある書き手の情報も反映されてしまう

→ 記事の下に記載されている「参考文献」や外部リンクを見るなど、記事の根拠を確認する習慣づけをしましょう

② 信頼できる情報源

インターネット上の信頼できる情報源とは？

- ◎ 省庁や自治体など公的機関などのウェブサイト
- ◎ 研究機関や学会がインターネット上にあげている記事や論文（筆者が明示されているもの）

これらの情報を効率的に探すには？

・ Google検索などでの検索語の活用

「検索演算子」を使用することで、質の高い検索ができる。

(例) 「検索語」 site:go.jp 政府機関

「検索語」 site:ac.jp 大学

・ データベースの活用

① 図書館ウェブサイト

- **資料検索**

電通大の所蔵資料と世界の文献を一括検索する
電通大の所蔵資料だけに絞り込むことも可能
すぐに利用できる資料を探しているときに便利

② 論文検索

- **Google scholar**

電通大にあるかどうかに関わらず、
読みたい論文全般について検索したいときに
便利

- **Web of Science**

電通大にあるかどうかに関わらず、
科学分野の論文について検索したいときに便利

③ その他

- **CiNii Research / CiNii Books**

国内の論文や雑誌記事等の検索と、雑誌や図書の所蔵機関の検索

- **J-stage**

日本で出版された論文のデータベース

- **国立国会図書館サーチ**

公共図書館などを含めた資料の検索

・・・など



図書館や図書館の機能を
活用しましょう！